

そして、たま駅長は誕生した

多くのマスコミに取り上げられ、
和歌山電鐵の名を全国区にした
猫の「たま駅長」。
その仕掛け人こそが、
「地方交通再生請負人」の異名を持つ、
小嶋光信だ。
数々の交通事業者を立て直した
彼の軌跡、未来予想図に迫る。



交通新聞社新書070

『地方交通を救え!』

小嶋光信・森 彰英／著